

友愛委員会の一年を振り返って

友愛委員長 森 勇

友愛委員会は、地域に根付いている「配食サービス」、毎回参加者に楽しんでいただいている「高齢者を囲む会」、また、8月に行っている「暑中お見舞い訪問活動」、そして、ふれあい運動会に出展している「友愛呈茶サービスコーナー」など、年間を通じて毎月色々な事業を行っています。

これらの事業は、新鶴沼台の「あゆみの会」、鶴沼台の「かすみ会」、山崎町の「沙羅の会」、東町の「あやめ会」の4つのボランティアの方々と、民生委員が構成メンバーとなっております。

この鶴三校区も高齢化率が一段と高くなり、また、独居率も同様に増え、配食サービスの対象者が増加した事で昨年よりも配食数を150食増の約500食を宅配する事に致しました。

ここ数年、要望の強かった配食数の増加について、色々と議論を重ねた結果、料理室スペース、また、宅配時間などの課題をボランティアの皆様と民生委員の理解と工夫で宅配食数を増加する事が出来ました。

尚、配食回数の増加については、現在の事業内容を更に付加する事はマンパワー的に大変難しい状況であるため、今年も妙案がなく検討課題として積み残してしまいました。

また、高齢者を囲む会では、3年連続の雨で参加者の方々には大変足元の悪い中、ご参加い



ただきました事に深く感謝申し上げます。

この事業は、各務原市社会福祉協議会の歳末助け合い配分事業の一環として助成を受けて行っているメニュー事業であり、今後ともこの事業が継続して出来る事を願うものであります。

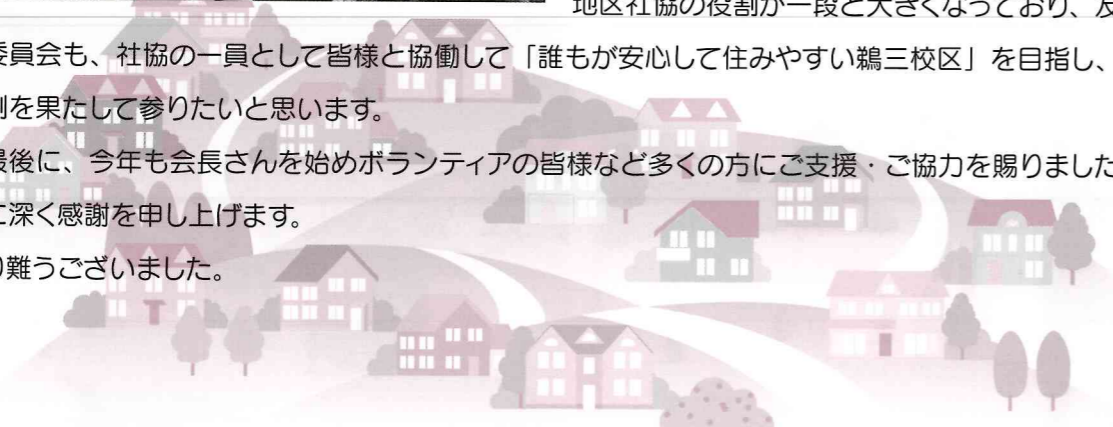
今年は、生活困窮者自立支援法も施行され、地区社協の役割が一段と大きくなっており、友



愛委員会も、社協の一員として皆様と協働して「誰もが安心して住みやすい鶴三校区」を目指し、役割を果たして参りたいと思います。

最後に、今年も会長さんを始めボランティアの皆様など多くの方にご支援・ご協力を賜りました事に深く感謝を申し上げます。

有り難うございました。



鶴三地区のトレードマークです。



社協のマークです



福祉の心を育てよう

『笑顔であいさつができる地域に』

鶴沼第三地区社会福祉協議会 副会長 大谷 弘

近頃、テレビなどで凶悪事件がよく報道されています。一方、日本は安心安全な国として外国人観光客は増え続けています。実際は、犯罪白書では刑法犯罪は減り犯人の検挙率も上がっていると報告しています。こうした漠然とした不安感が私たちの暮らしをギスギスしたものにさせています。

私たちの住んでいる鶴三地区では「子ども会」「見守り隊」「サークル活動」や「配食サービス」などいろいろな『地域のつながり活動』が行われています。

今年度は、私も役員として「ふれあい運動会」や地域の「夏祭り」などに参加して、たくさんの人たちと『笑顔であいさつができる関係』が出来ました。

私の息子には、重い知的障害があります。こうした顔の見える関係が、障害のある人もない人も共に暮らしやすい地域を創っていくと信じています。そして、これからも『こんにちは！』と気軽にあいさつをしていきたいと思えます。

役員を終えるにあたり協力していただいた皆様にお礼とともに、楽しく活動できたことを報告させていただきます。



鶴沼第三地区社会福祉協議会総務委員長 深尾 正之

総務委員長として就任した当初は、戸惑いや不安ばかりでしたが、皆様に支えられ、無事に一年が過ぎようとしております。

今年度は、『子供から高齢者まで幅広く参加できる』ことを念頭に置き、事業を企画してまいりました。障がい者の理解を深めた「講演会」、幼児から高齢者まで楽しく体を動かした、二度の「健康体操教室」、鶴三地区の昔と今、そして未来を考えた「座談会」を開催いたしました。大変多くの方にご参加いただき、充実した時間を過ごすことができました。

至らぬ点も多くありましたが、皆様にご指導やご協力をいただき、一年を終われますことに感謝いたします。今後も地区社協の活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。





ふれあい委員長 東 哲

去る10月18日(日)「平成27年度ふれあい運動会 - 三世代スポーツ音楽元気村」が昨年に引き続き「鵜沼第三自治会連合会」「鵜沼第三連合体育振興会」との共催により開催されました。

これは親・子・孫の三世代がこの運動会に参加することにより、さらなる「地域の協調の強化と活性化」「健康の増進」をはかることを目的として開催されましたが如何でしたでしょうか？

硬い(固い)ことは兎も角「楽しかった」と少しでも感じて頂けたならば主催者の一員として望外の幸せであります。

社協としては ①体育館における「ふれあいコンサート」②教室における「絵手紙教室」「パソコン教室」③中庭における各自治会に対する「模擬店」の出店要請でありましたが何れも歴史があり一定程度定着化している(ファン層がある)感を受けました。

ふれあいコンサートでは初の試みとして「ブルーベローズ楽団」に出演いただきましたが如何でしたでしょうか？ 鵜沼第一幼稚園の鼓笛隊は愛らしく・一生懸命・真剣に、又緑陽中学校吹奏楽部の演奏はダイナミックかつ繊細にそれぞれの持ち味を大いに発揮してくれました。来場者は事務局が準備した椅子の数をはるかに上回り立見席も満杯となり嬉しい悲鳴を上げた次第です。

絵手紙教室・パソコン教室では先生方、また支援(手助け)する方の協調のもと開催され夫々成功裏に終えることができました。

模擬店については各自治会等の参加(7店)をいただきお陰さまで大盛況でありました。

総勢300名を超える方々に参加いただき楽しい一日を過ごすことができました。この運動会のメインテーマである「地域のふれあい」に少しでもお役に立てたのでは・・・と自負しておりますが？

この運動会にご参加いただきました自治会の皆様方、ご指導・ご支援いただきました市・消防・保健所・諸団体の皆様方に厚く御礼申し上げます。

学校目標「美しい心で力いっぱいやりぬく子」をめざして

鵜沼第三小学校長 野口 実咲

鵜沼三小に赴任して2年目となりました。集中して学習する子どもたち。良いと思ったことを一生懸命取り組む子どもたち。異学年集団で楽しく遊ぶ子どもたちなど、美しい心の子どもたちの姿が学校に溢れています。

保護者や地域の方は、子どもたちや私たち職員を温かく見まもり、優しく声をかけてください。学校を支え応援して下さることを心から感謝しております。こうした保護者や地域の方の温かさや優しさがそのまま子どもたちの姿となり、子どもたちは穏やかで、互いの気持ちを大切に学習や活動にがんばることができています。これからも、子ども達一人一人の心に寄り添い、確かな学力を確実につける教育を職員一同、一丸となり全力で取り組んでまいります。ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

